

様式第4のト（第4条、第5条関係）

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車 名 及 び 型 式				①				
製 造 事 業 所 名				②				
危 険 物 ③	類	別		側 面 枠 ④	当 て 板	材 質 記 号		
	品	名				材 料	引 張 り 強 さ	N/mm ²
	化 学	名				板	厚	mm
	比	重				材 質 記 号		
タ ン ク 諸 元 ④	断 面 形 状			防 護 枠 ④	材 料	引 張 り 強 さ	N/mm ²	
	内 測 寸 法	長	mm			閉 鎖 装 置 ⑤	板 厚	
		幅			mm		自 動 閉 鎖 装 置	有 ・ 無
		高	mm	手 動 閉 鎖 装 置	有 ・ 無			
	最 大 容 量		L	吐 出 口 の 位 置 ⑤		左 右 後		
	タ ン ク 室 の 容 量		L	レ バ ー の 位 置 ⑤		左 右 後		
	材 料	材 質 記 号		底 弁 損 傷 防 止 方 法				
		引 張 り 強 さ		N/mm ²	接 地 導 線 ⑤		有 (長さ m) ・ 無	
	厚	胴 板	mm	緊 結 装 置 ⑥	緊 締 金 具 (す み 金 具)		有 ・ 無	
		鏡 板	mm		U ボ ルト	材 質 記 号		
間 仕 切 板		mm	引 張 り 強 さ			N/mm ²		
防 波 板 ④	材 料	材 質 記 号		箱 枠	材 料	材 質 記 号		
		引 張 り 強 さ				N/mm ²	引 張 り 強 さ	
	板 厚		mm	消 火 器 ⑦	薬 剤 の 種 類			
	面積比 防波板面積 ×100 タンク断面積		%		薬 剤 量		kg	kg
安 装 全 置 ④	作 動 圧 力		kPa	個	数		個	個
	有効吹き出し面積		cm ²		可燃性蒸気回収設備⑧		有 ・ 無	
側 面 枠 ④	材 料	材 質 記 号		給 油 設 備 ⑨		有 (航空機・船舶) ・ 無		
		引 張 り 強 さ		N/mm ²	備 考 ⑩			
	板 厚		mm					
	取 付 角 度							
接 地 角 度								

備 考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【移動タンク貯蔵所構造設備明細書記載要領】

根拠条文：省令第4条、第5条

- ①「車名及び型式」の欄は、当該タンクを固定又は積載する車両の名称及び当該車両の車検証に記載された型式を記入する。
- ②「製造事業所名」の欄は、車両にタンクのぎ装を行った事業所の名称を記入する。
- ③「危険物」の欄は、当該移動タンク貯蔵所に積載する危険物をすべて記入する。
- ④「タンク諸元」、「防波板」、「タンクの最大常用圧力」、「安全装置」、「側面枠」、「防護枠」の欄は、それぞれ該当する項目に必要な事項を記入する。ただし、「材質記号」の欄は、J I S記号を記入する。
- ⑤「閉鎖装置」、「吐出口の位置」、「レバーの位置」、「接地導線」の欄は、それぞれ該当する項目に○をつける。なお、レバーとは、緊急停止レバーを指すものであること。また、接地導線の欄は、()内にその長さを記入する。
- ⑥「緊結装置」の欄は、積載式移動タンク貯蔵所又は国際輸送用積載式移動タンク貯蔵所（箱枠のある移動タンク貯蔵所）のみ該当する項目を記入する。ただし、「材質記号」の欄は、J I S記号を記入する。
- ⑦「消火器」の欄は、当該移動タンク貯蔵所に設置した消火器の種類、本数について記入する。
- ⑧「可燃性蒸気回収設備」の欄は、該当する項目に○をつける。
- ⑨「給油設備」の欄は、航空機、又は船舶への給油ができる設備を有するかどうかについて、該当する項目に○をつける。
- ⑩「備考」の欄は、特殊な移動タンク貯蔵所の場合、その概要を記入する。